



千葉労働者

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.9.6 No. 3459

営業職場の組織強化、原職奪還へ

9/9-11日、営業全員集会を開催

営業分科会の結成へ 討論を深めよう!

営業に強制配転された仲間の中には、もう五年が過ぎた組合員も多い。国鉄時代の「人材活用センター」から始まり、無人駅・売店とタライ回しに強制配転をくり返し、元の職場に戻すことをJR当局は拒んでいる。さらにJRになってから営業に強制配転された仲間たちに対して、千葉支社は、当初の配転時の経緯をホゴにして、いまだに原職復帰の道筋すら明らかにせず、「塩づけ」の状態のままにしている。

この秋、運輸保安闘争と連携して、営業職場の中でも合理化・労働強化反対の闘いを強化しよう。同時にこの中で、営業分科会の結成にむけて、営業の仲間たちの真剣な討論をまきおこそう。

営業に強制配転された仲間の中には、もう五年が過ぎた組合員も多い。国鉄時代の「人材活用センター」から始まり、無人駅・売店とタライ回しに強制配転をくり返し、元の職場に戻すことをJR当局は拒んでいる。さらにJRになってから営業に強制配転された仲間たちに対して、千葉支社は、当初の配転時の経緯をホゴにして、いまだに原職復帰の道筋すら明らかにせず、「塩づけ」の状態のままにしている。

こうした中で、営業協会は営業職場における組織強化、動労千葉の運動の展開、さらに原職奪還にむけて、全員集会を開催することを決定した。この秋、運輸保安闘争と連携して、営業職場の中でも合理化・労働強化反対の闘いを強化しよう。同時にこの中で、営業分科会の結成にむけて、営業の仲間たちの真剣な討論をまきおこそう。

営業に強制配転された仲間の中には、もう五年が過ぎた組合員も多い。国鉄時代の「人材活用センター」から始まり、無人駅・売店とタライ回しに強制配転をくり返し、元の職場に戻すことをJR当局は拒んでいる。さらにJRになってから営業に強制配転された仲間たちに対して、千葉支社は、当初の配転時の経緯をホゴにして、いまだに原職復帰の道筋すら明らかにせず、「塩づけ」の状態のままにしている。

こうした中で、営業協会は営業職場における組織強化、動労千葉の運動の展開、さらに原職奪還にむけて、全員集会を開催することを決定した。この秋、運輸保安闘争と連携して、営業職場の中でも合理化・労働強化反対の闘いを強化しよう。同時にこの中で、営業分科会の結成にむけて、営業の仲間たちの真剣な討論をまきおこそう。

者属配業 全員集会

第1回 9日 13時

第2回 10日 13時

第3回 11日 18時

から、それぞれ南館

会場は、
弁天町会館

恐れていたことが、実際に!! 成田エクスプレスが踏切で車と衝突

八月二十二日午前七時半ごろ、都賀―四街道間の踏切で、遮断機が降りて踏切内に閉じ込められた乗用車と、下りの成田エクスプレスが衝突する

この秋、反合運輸保安闘争に全力をあげて闘いぬこう。

踏切で車衝突
運転者が重傷
成田エクスプレス

乗用車の運転手は重傷を負ったが、それ以上の大事にならずにすんだが、一歩まちがえば、正面衝突という事態にもつながらかねないものであった。動労千葉は、成田エクスプレスが運行された今年三月の「ダイ改」の計画が明らかにになった時点で、当初から千葉―成田間での踏切事故の危険性と、この区間を二〇キロの高速で走行することがいかに無謀であることかを指摘してきた。また実際に成田エクスプレスが運行されてからも、乗務員から「踏切でヒヤッとした」という報告がいくつも寄せられている。

これに対してJR東日本本当局は、踏切に障害物探知装置を設置した(事故がおきた踏切にはまだ設置されていない)だの、全て立体交差化は困難だの、車両の前頭部に成田エクスプレスは従来の車両よりは厚い鉄板を使っている、などと団交の場で答えるのみで、それ以外の対策は何ら講じないままであった。

わかれは、成田エクスプレスに限らず、今JRで営利優先・安全無視の合理化攻撃が激化しているなかで、現場の労働者が危機感をもって立ち上がらなければならないものとして、反合・運輸保安闘争の再構築を掲げて闘いぬいてきた。さらにJR東日本が提案した動力車乗務員の勤務制度の改悪は、安全をさらに

わかれは、成田エクスプレスに限らず、今JRで営利優先・安全無視の合理化攻撃が激化しているなかで、現場の労働者が危機感をもって立ち上がらなければならないものとして、反合・運輸保安闘争の再構築を掲げて闘いぬいてきた。さらにJR東日本が提案した動力車乗務員の勤務制度の改悪は、安全をさらに

わかれは、成田エクスプレスに限らず、今JRで営利優先・安全無視の合理化攻撃が激化しているなかで、現場の労働者が危機感をもって立ち上がらなければならないものとして、反合・運輸保安闘争の再構築を掲げて闘いぬいてきた。さらにJR東日本が提案した動力車乗務員の勤務制度の改悪は、安全をさらに

わかれは、成田エクスプレスに限らず、今JRで営利優先・安全無視の合理化攻撃が激化しているなかで、現場の労働者が危機感をもって立ち上がらなければならないものとして、反合・運輸保安闘争の再構築を掲げて闘いぬいてきた。さらにJR東日本が提案した動力車乗務員の勤務制度の改悪は、安全をさらに

9.8 労働者集会へ!